

展示の部



みんな真剣です
(今井ふるさと歌留多大会)

体育館では、ふれあい会
食会とバラエティに富んだ
数々のステージ発表が行わ
れ、大変にぎわいました。

11月3日(金)・4日(土)、
今井改善センター・福祉ひ
ろば・体育館・駐車場を会
場に開催されました。
4日は、昼すぎまで雨が
降るあいにくの空模様とな
りましたが、感性豊かな作
品や貴重な資料類が並ぶ展
示の部、恒例となった今井
ふるさと歌留多大会と紙芝
居、そして10周年のひろば
喫茶をはじめとする飲食の
出店など、多彩な催しに多
くの人が訪れました。

第41回 今井地区文化祭



No.332

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004



力作ぞろいの書道作品(高樹会・竹堂)



「今井昔話」紙芝居の原画展示(今井ふるさと歌留多の会)

ステージ発表の部



決まった！(ひろば端唄教室の剣舞・端唄)



未来へ伝えたい！今井民謡(今井舞踊会)

未来につなぐ 今井の文化 残そう、伝えよう 今井の文化

弁当配食・出店の部



手作りお弁当いつもありがとう！
(婦人部・食改さんのふれあい会食会準備)



ひろば喫茶 10周年を祝して出店
(福祉ひろば)



吹奏楽演奏と寸劇！「水戸黄門一行」(鉢盛中学校吹奏楽部)



勇壮な太鼓演奏！
(きつねとためき)



なが〜い！おいしそう!!
(子ども会育成会の
巻きすじづくり)



毎年楽しみです！
(大槻さん(右)・長谷川さん(左)のやきいも)

松本市市制施行110周年記念 第1回松本マラソン 開催!!

10月1日(日)、松本市総合体育館をスタートし、今井地区を通過して信州スカイパーク陸上競技場をゴールとするコースで行われました。天候に恵まれ、

8,600人あまりのランナーが爽秋の松本路を駆け抜け、3,000人以上のボランティアの方が笑顔で大会をサポートしました。



今井地区から大勢のボランティアが、コース整備や給水所、手荷物の返却所の係などに、約160人が参加しました。



がんばれ、がんばれー(ランナーを励ます今井のボランティアの皆さん)

まちなか探検隊 第10弾

10月31日(火)長野市の公民館と、戸隠神社を視察研修へ24人が参加しました。

最初に訪れた長野市役所では、公民館の指定管理者制度について、資料に沿って話を伺いました。

住民自治協議会による、住民が公民館を運営するという耳慣れない制度です。全公民館が制度に移行してはいない様ですが、メリットのみのお話でしたが、デメリットも多々あると思われまます。質疑応答を済ませ、戸隠公民館へ。山の中の広い敷地に、立派な建物で4名の職員、館長さん

つがやま No.268 「今井で子育て」 代田(境新田) 中沢

私は生粋の今井っ子です。今井保育園に通い、今井小学校に通いました。二人の子どもたちも現在今井保育園、今井小学校にお世話になっています。

地域の方や学校のご協力で四季折々の行事に参加できます。春は各耕地の旅行や、夏は育成会主催の川遊び、焼肉大会や今井ドンパン祭り。学習公園に行けば、カブト虫やクワガタも捕れます。冬は三九郎。雪が沢山降ってスカイパークでソリ遊びや小学校でスケートが楽しめます。一年があつという間です。

もちろん共働きで大変なこともあります。ただ、他の地域に比べ、今井独自の行事がまだ残っていると思います。県外から来た方からは、「大人が参加できる運動会があり、子どもたちが秋祭りで舞を舞ったり、歌ったりする体験はめずらしい」と言われます。今井には子どもたちも親も成長できる機会が沢山あります。この地域に感謝して、元気でこのびのび育ってほしいです。

最後に藤澤館長が、かつて戸隠神社へ今井から雨乞いの行われた事を報告いたしました。昼食は新そばを堪能し、霊験あらたかな戸隠神社中社を参拝、次に奥社へ移動、杉並木が美しく続く参道を散策。天候に恵まれた秋の一日、有意義な研修会を終えることが出来ました。



戸隠公民館図書室にて

第60回記念市民体育大会

10月8日(日)に開催され、総合順位は19位でした。(主な成績)

ゲートボール男子 優勝
第31回今井サイター
ソフトボールリーグ閉幕

- ★ 優勝 北耕地
 - ★ 準優勝 南耕地
 - ☆ 第3位 西耕地
- 今年は今井・松養教員チームが結成され、参加しました。(7チーム)

10月15日(日)の今井地区市民運動会は雨天中止でした。

10月29日(日)第34回市長杯争奪球技大会は、今井からゲートボールが出場予定でしたが雨天中止でした。

北風南風

先日某テレビで、長寿に関する番組がありました。京都府京丹後町の百歳以上の方の人口比率が、全国平均の2倍以上という驚きの報告であります。▼該当者への追跡調査から分かったことは、魚・野菜・果物中心の食生活。そして「皆さんが生き甲斐を持つて人生を楽しんでいる」というものでした。▼60歳定年退職後に絵画を始めたり、70歳から始めた彫刻を楽しむというように、それぞれに興味をもって生き生きと生活しておられるというものでした。

(K・K)